

当事者研究, 障害学, そして自閉的にクィアする試み

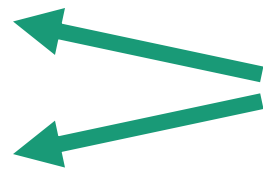
第13回障害学会
2016.11.5 川添 睡

Summary

「私と社会をつなぐ」ための3つの態度 (態度の3つの側面)

① 障害学する態度

② 当事者研究する態度



③ “クィアする”態度

(ずらす・台なしにする)

➡ 3つの態度の合成として「自閉的にクィアする」
=自閉文化者としてクィアする研究・実験を試みる

わたしの依存先, わたしを構成する姿勢

「社会/日常と私の間バランスをとる」方法
日常を解釈する手がかりとなる3つの視点

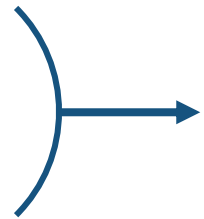
① 運動とそこから生じた知見、物の見方の蓄積

学問としては

障害学

フェミニズム

クィア理論 etc...



+それらの重ね合わせ

→自分を(原則的に)否定的にとらえない態度

② 当事者研究「研究する・弱さでつながる」態度

③ 「クィアする」態度

② 当事者研究 (ミーティング) とその態度

「当事者研究」っていろんな意味があるけれど...

べてるの家からの「自己研究形式のミーティング」

「生き方のスタンス」「世界とのかかわりかた」の研究

>症状は問題の要因ではなく、既に一つの解決法 (べてるの家)

- ・ 自分と自分の問題を分ける ⇔ 身体感覚や認知をその人自身の言葉にする
- ・ 他人事のように語る ⇔ 自分に引き寄せてみる

→ 「研究する」という**態度**で日常と向かい合うこと自体に意味
「生きるために研究してみる」 << 「研究するために生きてみる」

当事者研究的 (?) に自己紹介

停滞に生きる私

自分の部屋に家具とか家電とかを買い足さない
日用品を補充しない 古い物も処分せず

部屋にいるとき, 自分の希望は
「停滞した空気にみたされて」 毎日を過ごすこと

フツーの言葉では, 私の部屋は「散らかっている」??

>> 「私の部屋 “が” 私の停滞に ”ついてこれてきていない”」

部屋が停滞した私に連動出来ているなら, きれいなままのはず

「私の部屋を停滞させる方法」の研究中

③ クィアする (queer, queering) という態度

【名詞】 変態 【形容詞】 風変わりな, 奇妙な

- ・元はかなりの侮蔑語だが, 当事者が挑発的な自称として再盗用した

【動詞】 ひねる, 転回する, 台なしにする etc...

- ・これまでの意味の脱臼 (脱構築, 脱二元論)
- ・不文律・タブーとされていることの明示度を上げ (浮き上がらせ), その価値と効果を問い直す, 洗いなおす, ずらしてしまうこと

→ 障害者権利擁護の運動にも片鱗があるはず

一、我らは、愛と正義を否定する。

一、我らは、問題解決の路を選ばない。

「日本脳性マヒ者協会 全国青い芝の会 行動綱領とその解説」

「クィアのエッセンス (??)」

「クィアする・台なしにする」という行為は、自己がのっかっている「台」も「台なし」にしてしまう行為なわけです。

「おもいがけず、その場の なにかがクィアされてしまう」事態というのは、おそらく だれにとっても、たのしいものではありません。

「自分のよってたつ台をも、台なしにする」——「クィア」という動詞のもつ、この諸刃の剣、というか、さしちがえ覚悟みたいないきごみをおもいだすことで (後略)

(「わたしの〈クィア〉とあなたの〈クィア〉は違う：グローバルでないドメスティックなクィアの不可能性」マサキチトセ, 2013/1/31)

「自閉的にクィアする」試み

障害学の視座・当事者研究の姿勢・クィアする観点
>3つの態度を合わせた実践

自閉的:

「文化としての自閉者である私」を規範をずらす起点とする
>私自身の考え方のパターン, 物事のとらえ方, 身体の感覚

クィアすること, クィアな視点を通じて
覇権が機能する構造が不具になる可能性を探る

多様性のある視点で組織やコミュニティーを
脆弱にする (=脆弱さをより豊かにする)

クィアを探す –AgencyGlassの (不?) 可能性–

「AgencyGlass: 人間の擬人化による感情労働の代替」 (大澤 2014)
「感情コントロールが不要になる眼鏡型装置、日本の科学者が開発」
(AFP通信 2014)



>健全中心主義は揺らがない
新しい未来ではなく、過去と現在に
対する別の見方の可能性の誘起

表情はだれの (つくった) もの? ⇔ 表情の意味はだれの (解釈した) もの?
定職にない人でも、すでに無期雇用の感情労働者だった疑い >家電で楽を

まとめと展望

「自閉的にクィアする」試み

(1) 研究する場で・当事者研究する場で, “クィアする” 観点に着目する
研究と当事者研究の対等な架橋点のひとつになりえるか?

(2) 「研究」とされてきたものの有り方自体をクィアする

- ・ いままで「研究」で当然とされていたことを (自閉者の) 私たちに合った方向に変えることはできるか?
- ・ 「研究」という言葉が今意味している範囲は “ずらせ” るか?
- ・ ずらした時「台なしにされてしまう」ことがあるとしたらそれは何か?

覇権が機能する構造が不具になる可能性を探ること

多様性のある視点が組織やコミュニティーの脆弱さを豊かにすること

出典・参考文献

当事者研究:

浦河べてるの家

Tokyo-Tojisha-Meeting Meetup (協力)

クィア:

マサキチトセ, 2013/1/31, 「わたしの〈クィア〉とあなたの〈クィア〉は違う: グローバルでないドメスティックなクィアの不可能性」, <http://ja.gimmeaqueereye.org/entry/20> (2016/7/31現在)

「日本脳性マヒ者協会 全国青い芝の会 行動綱領とその解説」, <http://web.archive.org/web/20110526173134/http://w01.tp1.jp/~a151770011/setumei.html> (2016/7/31現在 Webarchive 保存版)

AgencyGlass:

AFPBB, 2014/4/22 「感情コントロールが不要になる眼鏡型装置、日本の科学者が開発」, <http://www.afpbb.com/articles/-/3013259> (2016/7/31現在)

大澤博隆, 2014, 「AgencyGlass: 人間の擬人化による感情労働の代替」

「Wearable Eyes Turn You Into Emotional Cyborg」
<https://www.youtube.com/watch?v=GhvHxz1NePQ> (2016/7/31現在)